

令和元年度大都市制度・市制100周年調査

特別委員会行政視察報告書

大都市制度・市制100周年調査特別委員長 中島 賢治

【視察日程】 令和元年10月28日（月）～10月29日（火）

【視察委員】 委員長 中島 賢治
副委員長 白鳥 誠
委員 亀井 琢磨、田畑 直子、椛澤 洋平
小松崎 文嘉、宇留間 又衛門、
茂手木 直忠
随行員 石黒 薫子、丸山 貴裕

【視察地及び調査事項】

- 1 大阪市（10月28日）
 - （1）大阪市における大都市制度の検討・取組みについて
 - （2）市政改革プラン2.0について
- 2 明石市（10月29日）
 - （1）明石市制100周年記念事業について

【視察報告】

1 大阪市（大阪市における大都市制度の検討・取組みについて）

調査目的	大阪市では、経済の長期低落傾向や人口減少・超高齢社会などの課題に対し、広域機能の一元化・二重行政の解消による都市機能の強化、基礎自治機能の充実を目的として「副首都・大阪」にふさわしい新たな大都市制度の実現をめざしている。大阪市における先進的な大都市制度の取組み・課題等を調査し本市の施策推進の参考とする。
視察概要	<p>1 調査項目 (1) 大阪市における大都市制度の検討・取組みについて</p> <p>2 説明者 大阪市大都市・副首都推進局制度 企画担当課長 政策企画室企画部 政策担当課長 担当係長 広域連携担当課長代理</p> <p>3 視察の様子（写真） 大阪市会にて、概要説明を聴取</p>  <p>4 主な質疑（□：質疑、■：答弁）</p> <p>□ 大阪府への広域一元化や特別区制度で既存サービスが充実するということだが、こういった点でサービス向上が図られるのか。</p> <p>■ これまで、大阪府市のそれぞれの首長の方向性が違っていった場合、インフラ整備、観光戦略などの事業を円滑に進めることが困難</p>

	<p>な場合があったが、一元化することによってこれが解消されることで広域的な施策推進の円滑化を図ることができる。</p> <p>今の大阪市は270万市民に対し1人の首長。特別区になると、1区当たり60～70万人の人口となり、現在の大阪市より住民と首長の距離が縮まる。特別区が基礎自治機能に特化する形で住民サービスの提供にあたるため、より住民ニーズにもこたえていくことができるものと考えている。</p> <p>□ 資料に記載のある来年の秋に住民投票、これは決定されたのか。</p> <p>■ これはスケジュールを法定協議会の方で示されているものだが、当然住民投票を実施するに当たっては議会の議決が必要であるため、まだそこまでは至っていない。</p> <p>これはあくまで素案。まだ議論は続いている状態である。</p>
<p>委員の所感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪市、堺市の2つの政令市が存在する大阪府において、行政や制度面で重複したり、整理すべき面はあるだろうが、身近な住民サービスがどこまで担保、保障されていくのか注視すべき点は多いと考える。 また、関西広域連合の取組みにおいては、国の受け皿づくりを見越しての取組みであったこと、各府県市がテーマごとの施策推進の役割分担を果たしていることなど、非常に興味深く感じた。首都圏の9都県市の取組みなど、また研究しようと考えさせられた。 ・ 特別区として住民に身近な事務のみを区長のもとで担うことについては、住民サービス向上に寄与するものになると考えるが、地方の特性を活かしたまちづくりをしていくためには政令市としての機能を現存のまま実施した方がよいところもあるのではないかと感じた。 県市の連携強化は必要であるため、首長、組織同士の意思疎通や合意形成機関は必要。大阪で特別区が実施された場合、大阪市以外の市町村と大阪市の状況の違いを踏まえ、府が全体の自治体経営を見ていくことができるのか、懸念があると感じた。 広域連合については、関東においても効果があると思われ、政令市と近隣県が連携することは大きな意義があると考え。推進していくことで今後の自治体の人口減少、職員減数にも対応できるのではないかと考える。 ・ 広域機能一元化になっても、基礎自治体としては変わらないが、4特別区になると少し距離が縮まることによって住民サービスが向上するとの見解だった。やはり堺を入れないと効果が薄いと感じた。 ・ 大阪市、大阪府二重行政解消のための大阪都構想が選挙によって住民によって反対された。千葉市も同じではないかと思う。地域の住民は2重行

	<p>政についてはまだ理解が進んでいないと思う。早く大阪も都構想の実現のため頑張ってもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none">大阪府市の二重行政解消のため取り組んでいる内容について、千葉県内で取り上げるのは壁が大きいと思われるが、千葉市での可能性について今後考える必要があると感じた。現在の行政区を特別区にすることや、縣市間の協議を進めることには事務的につめる場所の確立は現在の千葉市では困難であり、大阪はレアケースと思われる。 <p>関西広域都市連合については、医療面ではなければならない要素があると思われる。国に対する要望事項等、効率が良くなると思う。</p>
--	--

1-2 大阪市（市政改革プラン2.0について）

<p>調査目的</p>	<p>大阪市では、本格的な人口減少社会の到来や少子高齢化による社会情勢の変化に伴い税収の確保が困難となる中、社会保障関連経費の増、施設の維持管理や更新を見据えた対応、高度化・多様化する住民ニーズに的確に対応していくための取組み方針として、「市政改革プラン2.0」を策定し、ムダを徹底的に排除した効果的・効率的な行財政運営、ICTの徹底活用や職員の能力を最大限引き出し質の向上を図る改革を積極的に進めている。</p> <p>本市においても、平成22年度から財政健全化プランに基づき行財政改革に取り組んでいるが、未だ厳しい財政状況が続いているため、大阪市における取組み・課題等を調査し本市の施策推進の参考とする。</p>
<p>視察概要</p>	<p>1 調査項目</p> <p>(1) 市政改革プラン2.0について</p> <p>2 説明者</p> <p>大阪市・市政改革室 総務担当課長 改革プラン推進担当課長</p> <p>3 主な質疑（□：質疑、■：答弁）</p> <p>□ 区のシティマネージャー制度について、地域の実情に即した総合的な予算編成ができるようにするという点で、どの分野に関して施策決定、予算見積もりや予算執行ができるのか。</p> <p>■ これまで区がやっていた地域関係については基本的に区シティマネージャーが執行できるような予算編成に移行していく。各区24区それぞれが実施しているため似たような施策があるが、例えば広告事業などといったところで各区の独自性が図れるようになる。</p> <p>□ 様々な分野で目標を立てて市債残高を大幅に減らしてきたと思うが、その目標設定の根拠と、進捗、成果は。</p> <p>■ 大阪市とよく似ている横浜市、神戸市等を参考にした。</p> <p>10年以上やってきて、次期取組期間中によりやく解消するという見込みだが、それで終わりではなく、今後は、投入資源は維持してよりサービス向上に努める。または、サービス水準は維持したまま、投入資源を削減するなど、中期的な取組みをしていきたいと考えている。</p>

	<p>□ 未収金対策の強化ということで、428憶から403憶と、25憶円削減されたということだが、この未収金の主なものは何か。</p> <p>■ 例えば、国保とか、市営住宅なども含まれる。国保の収納率が芳しくなかったため、市長をトップに、市の中で債権回収の対策会議という専門のチームを立ち上げ、収納率向上のため取り組んだ。</p> <p>ただ、債権回収のみではなく、生活の実態なども踏まえて、債権放棄や免除が必要なケースもある。納めるべきものを納めていない人に対しては、当然、色々な方法を用いて納付を求めているが、納付困難な方については、見極めたうえで債権の放棄等必要な手続きを行っている。</p> <p>□ 25億円は放棄分も含まれているのか。</p> <p>■ 含まれている。</p>
<p>委員の所感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政改革の進捗や成果といった具体的内容について、また、区のあり方、中間見直しの取組みとそれに対する力の入れ方を理解できたので、本市の取組みの参考としたい。 ・ 200億円の単年度通常収支不足などの厳しい財政状況を受けての「市政改革プラン 2.0」は、数値、指標が明確に示され、一見非常にわかりやすく感じた。それは、外郭団体の削減や民営化、職員数の削減などわかりやすい分野での削減が中心に据えられているからと思われるが、区政版も含めて、各分野の施策について、目標数値と実績値が記載されていることは市民、住民にとってより市政を身近に感じるうえで意義のあることと思う。 <p>本市においても引き続き、わかりやすい形、見える形での、市政の方向性について、住民との相互理解の推進が求められると改めて感じさせられた。</p> ・ 本市においても同様に改革プランに取り組んでいるが、公募区長制を取っているせいか区政版が多くの項目を持ち制定されていると感じた。 <p>職員削減数などが効果として挙げられていたが、本市で同様に取り組むことはできないため、オープンデータ、ビッグデータの活用や、公共施設の受益者負担、利用料についてなど本市でまだ進んでいない項目を参考にしたい。</p> <p>また、区制においては、ニアイズベターという考え方を計画の中にも明記し、自律した自治体系の区政運営を推進している点は学びたい。区 CM 制度、作業要領書などの整備を徹底しムラや変化点をリスク低減することについても、本市でも取り入れられると感じた。</p>

	<p>なお、様々な福祉系施設も民営化していく方向であることから注視していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市政改革プラン 2.0 については、個別事業の性質は変わるもののやはり政令市は似た問題を抱えていると感じた。・ 歳出削減、歳入の確保の問題は大都市みな同じである。千葉も民間活力の活用によりコスト削減とサービスの向上に努めている。大阪市、千葉市も人口の減少が進むなか、財政をいかに市政に反映していくか、改革推進の強化や ICT の活用を積極的に進めてもらいたい。市民サービスの向上、業務の効率化、安定した財政基盤、これは全国の都市でも同じ課題だと思う。・ ムダを省く PDCA サイクルの徹底した職員の削減、官民連携 チェック体制は本市でも取り組んでいると思われるが、改めてこの内容について考察する必要がある。
--	---

2 明石市

(1) 明石市制100周年記念事業について

調査目的	<p>明石市は、2019年に市制100周年を迎え、この大きな節目を、市域全体のまちの魅力を高めるために新たな施策を推進する機会とするとともに、「ふるさと明石への愛着を深める」「わがまち明石の魅力を広める」「やさしいまち明石の創造発信」を基本方針とし、“市民みんなで”事業を展開し、先人が築き上げてきた「明石物語」を、次世代へつなげる「新たな明石物語・新生あかし」へとステップアップする機会と捉え、2020年以降の施策展開に向けて取り組んでいる。</p> <p>本市においても来年度に市制100周年を迎えるため、明石市の取組状況や課題等様々な事項について調査し、市制100周年記念事業及び以後の施策推進の先行事例として本市の施策展開の参考とする。</p>
視察概要	<p>1 調査項目 (1) 明石市制100周年記念事業について</p> <p>2 説明者 明石市政策局市制施行100周年記念事業推進室 課長 係長</p> <p>3 視察の様子（写真） 明石市議会にて、概要説明を聴取</p>  <p>4 主な質疑（□：質疑、■：答弁） □ これまでの80周年、90周年に対し、100周年の取組みにおける異なる視点や取組内容はどのような考え方を持って取り組んでいるのか。</p>

	<p>また、100周年で様々な取組みをされているが、明石市の100周年のレガシー、考え方も含めて今後に生かすことについての見解は。</p> <p>■ 80周年 90周年の時は行政主体でやっていただけだと認識している。今回は、本当にメインはB-1グランプリと明石伝統夢まつり。地域の人が参加し、一緒にやりましょうという形を主眼に入れて行っている。</p> <p>□ 100周年で様々な取組みをされているが、明石市の100周年のレガシー、考え方も含めて今後に生かすことについての見解は。</p> <p>■ 考え方として、100周年に何かしようではなくて、100周年という機会だから一緒にやりましょうというきっかけづくりになっている点がある。</p> <p>今後のことも、一緒に取り組んでその中でまた新たに何かするときも声を掛けやすくなると思っている。祭りなどの行事を介して、今までなかなか付き合いがなかった開発行為で転入された方と、昔から地域に住んでいる方の交流が活性化されたり、地域の福祉、あるいは一人暮らしの老人や防災の関係など地域のコミュニティーがつながる機会になったと思っている。</p> <p>□ 記念式典はどのようなものを予定されているのか。</p> <p>■ 毎年市政功労の表彰式をしており、例年同様に、友好都市、姉妹都市、観光大使の人からメッセージをいただくといった、セレモニーを行うものである。</p> <p>□ 先ほどの、のど自慢やテレビのプロモーションなど、市民を含めて内外に知らしめずプロモーションの戦略や、市民に対する周知についてはどのように取り組んだか。</p> <p>■ 予算の都合もあり、ペイドパブリシティは行わず、地道に1校ずつ小学校を回って周知活動を行った。</p> <p>周知の相手としては、やはり子供がいいと思っている。子供が知ればその親も知り、祖父母も知る。ただ中々、教育委員会の理解を得るのが難しい中で校長一人ずつ説明していた。</p> <p>□ 100周年のロゴを選定した市内小学生は全員か。</p> <p>■ 1万6000人のうち、学校によって1、2年生はまだ早いかなという学校もあったので、その辺は学校に任せをお願いしますという形</p>
--	--

	<p>で実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> あくまで小学生だけで決めたのか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 小学生だけで決めた。 人によってはもう少しいいセンスのやつなかったと言われるが、これがいいのです。子供たちで決めたのです、と言っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 記念切手がすごくいいと思ったが、市の予算はどの程度投入されているのか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 人件費だけである。ただ市で買い取って販売するという手法もある。</p> <p><input type="checkbox"/> デザインだけ市で決めたのか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> デザインを決める際は、みんなで作りましたという取組みにできなかったのが、募集という形で行った。</p> <p><input type="checkbox"/> ふるさと明石のところで、市歌を活用されているということで、どのような活用をされているのか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> CDを今回作り直し、各学校に配って流してもらっている。また記念式典のときには歌っている。その他では防災無線で17時に流して、帰宅を促す目的で曲を流してる。 また、小、中学生には一応CDの方を1枚、100周年ですということでお渡ししており、出前講座の導入では、毎回CDを流して紹介している。高齢者大学では市歌を合唱されていたりもする。</p> <p><input type="checkbox"/> 100周年事業のトータルした予算というのはどの程度か。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2億4000万。ただこのうち1億8000万円がB-1グランプリである。 経済効果は西日本大会を前やったときが5000万円使って市内で8億円。県内10億円の経済効果があった。</p> <p><input type="checkbox"/> 市長の本を読ませていただいて、人口30万人を目指すなどのトリプルスリーという政策等、ほかの施策とかでも注目してる。そういった施策も中長期的にやっていく中で今回の100周年事業でも連動性を持たせて実施している印象を受けたが、市として100周年の期間中に特に力を入れている施策はあるのか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> とにかくキーワードはやさしいまち。SDGsにも力を入れてい</p>
--	---

	<p>て、全ての人と一緒に見に来て、困っている人たちを支えていこう、その人たちもできることを一緒にやろう、という形で取り組んでいる。</p>
<p>委員の所感</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100周年を様々な人、団体を巻き込んで成功させようとする担当者の熱意が市全体の盛り上がりにつながっていると感じた。 ・ 市民・団体・マスコミ等に参加してもらえる機会を作ることが重要で、特に、学校を通じた子どもたちの参加、切手発行、各種イベント開催等、本市に取りいれるべきものがあると思った。 ・ 記念切手の作成は、非常によい取り組みと思われた。予算がかからないこと、買取りもできることから本市でも検討できるのではと感じた。 ・ のど自慢の誘致、なんでも鑑定団など、本市でもメディアを活用することもできるのではと感じた。 ・ B1 グランプリ、各種団体を巻き込む機会として生かすことに意義があると感じた。 ・ やさしいまちづくりを目指して、子どもや障害者が楽しめる企画を作ったB1 グランプリは素晴らしい取り組みだと感じた。 ・ B-1 グランプリもグルメイベントではなく子供や高齢者を巻き込む仕掛けをするためボランティアなどに活用している点がよかった。 ・ 小学生がロゴを選定するなど、子供と一緒に100周年を位置付けた進め方は参考になった。